

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			ダイキンHVACソリューション九州(株)熊本支店	・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・従業員は、会社の持続可能な開発目標の達成に向けた取組みを理解し、取組んでいる。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守の規定とマニュアルがあり、社内のイントラに常に最新版を掲示している。 ・法改正対応の説明会や、法令順守の勉強会を実施し、従業員への啓発を行っている。															16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として、全従業員に対してeラーニングを実施し、取引先を含め、社内・社外に対しての不正禁止事項の研修及び周知徹底を図っている。										10					16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境管理体制図を基に、社内統括者・環境管理責任者・事務局・推進委員を任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼすリスクと機会について把握している。															16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する研修及び全社員への周知徹底を年に一度、eラーニングにて行っている。								8.2 8.3	9						16				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に関するグループ指針を定め、徹底に取り組んでいる。 ・個人情報保護に関する研修及び全社員への周知徹底を年に一度、eラーニングにて行っている。															16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・さまざまなステークホルダーとの対話を通じ、企業経営に生かしている。 ・利害関係者のニーズと期待を洗い出し、当社が取組むべき事項を決めている。															16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導・育成の為、入社後の研修や中堅社員の教育、PAやSAIによる教育などOJTを取り入れる仕組みを構築している。								8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・グループ行動指針を明示し、一人一人の人権を尊重することを掲げている。 ・毎年、行動指針遵守状況の確認のために『自己点検』を実施し、問題が無いか確認し、必要な対策を講じている。 ・『企業倫理・リスクマネジメント委員会』を設置し、人権・ハラスメントなど含む全般に関する相談や意見を従業員から受け付けている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生管理体制を構築し、各拠点に安全衛生責任者を配置している。 ・メンタルヘルスに関わるeラーニングを実施し、結果についての対話や、基幹職研修で管理職の教育や啓発活動を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・従業員労働組合にて、従業員への対応も行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・勤務管理(リシテア)を導入し、パソコンのログ管理、日々の労働時間管理を徹底している。 ・労働組合で年間有給休暇日数を定め、定期的な面談を実施し、業務の効率化を図っている。 ・社内の環境ISO活動の一環として、ボランティア活動の奨励をしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・グループ内に研修所があり、必要な資格を取得することが出来る。 ・必須資格については、入社年より段階的な計画表が作成しており、従業員への啓発をしている。また、必要経費の全額支給や、高い能力の資格については報奨金制度も設けている。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施出来る管理職を育成するための『基幹職研修』を行っている。 ・全社員のeco検定取得を環境目標(EMP)に挙げ、取得推進に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年に2回の健康診断、及び、インフルエンザ予防接種の経費は会社が全額負担している。 ・毎朝、出社時の体温測定を実施、朝礼時にラジオ体操を実施している。 ・コロナワクチン接種に対し、休暇の取得が出来る様な体制を取っている。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・全社員213名中、女性61名、障がい者3名、再雇用社員18名の従業員が個々の多様性を尊重し活かす事の出来る業務配置をしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・全社員にモバイルパソコン・携帯電話を支給し、在宅勤務、直行直帰、時差出勤を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制も整備している。 ・web会議、会議室の窓開け換気、空気清浄機、全熱交換器の設置など徹底している。			3					8	9.1		11	12						
20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・全社員にモバイルパソコン・携帯電話を支給するなど、IT投資によりテレワークを推進している。 ・勤務管理、手続き関係、カタログなど全て電子化している。 ・ドキュワークスを導入し、パソコンでのFAX管理や相互間の伝達や共有ホルダー管理を実施している。社員同士の対話についてもteamsやチャットを活用している。								8	9.1		11	12						
21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・廃棄物や有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内を全てLED照明に交換している。 ・社有車をエコカーに転換している。 ・次世代テレマティクスサービス「SMAS-Smart Connect」を導入し、ドライブレコーダーと運転管理ソフトを利用した上でガソリン削減に取り組んでいる。 ・毎月の電気使用量・ガソリン使用量を算出し、EMP(環境取組)の監視目標として削減に取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・ダイキンは環境ビジョン2050を策定し、2050年に温室効果ガスの排出実質ゼロに向けて、2030年目標を設定し、戦略経営計画に織り込んで推進している。 ・自社の工事で発生するフロンガスの回収・管理の徹底、また、全数再生への取組により、現在の破壊処理より1/20のCO ₂ 排出量となる取組をしている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・敷地内に緑地を設け整備し、生物の生育地の創出に取り組んでいる。 ・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・環境に配慮した製品の販売を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ドキュワークス利用を促進しペーパーレス化に取り組んでいる。 ・裏紙利用を徹底している。 ・ゴミの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水の啓発プレートを掲示するなど、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事業内容である家庭用エアコンの排出は、100%家電リサイクルとしている。 ・本来業務では、グリーン購入法調達基準適合商品の販売に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社内でフードドライブを実施している。 2023年度 10.59kg	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・毎週金曜日の夕方、事業場周辺道路の緑化・清掃活動をしている。 ・夏場は事務所ガラス面にグリーンカーテンを植栽している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2050年カーボンニュートラルの実現を目指す『環境ビジョン2050』を策定し、2050年に温室効果ガスの排出実質ゼロに向けた計画を立てている。(グループ本部方針) ・中長期計画を立て、2025年に30%以上、2030年には50%以上の削減目標を設定し、戦略経営計画に織り込んで推進している。 ・自社の工事で発生するフロンガスは全数再生の取組を実施し、CO ₂ 削減に向けた取組強化を実施している。 ・年に一度、グループ全社のサステナビリティレポートを発行、また、環境レポートを毎月発行し全従業員へ周知徹底を継続している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:ダイキンHVACソリューション九州(株)熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品の使用安全確保を踏まえた取扱説明書を作成している。また、製品設置工事完了後、お客様へ取扱説明を行っている。 ・提供する製品の質を確保する為、お客様コンタクトセンターを設置し、24時間体制で対応している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・販売する製品にはユニバーサルデザインに配慮した家庭用エアコンがある。 家庭用エアコンのリモコンは大画面表示とし、大きなボタンで押しやすく、機能を少なく配置。また、点字表示が付いていたり、光ってお知らせするなど配慮している。 ・リモコン操作を音声でお知らせしたり、離れて暮らす家族の見守り機能(OP)など配慮した製品の販売に取り組んでいる。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、地域のボランティア活動に参画するよう奨励している。またその取り組みを環境ISOのアクションプランとして実行している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・事務所において、防災グッズを一人一つ常備している。 ・防災時の連絡体制図を作成し掲示している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・事務所内にAEDを設置している。 ・AEDの操作方法について、全員への講習会を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGsに関する研修を実施し、社員へのSDGs取組への意識が浸透している。(3. 7. 8. 9. 11. 12. 13. 17の取組について、サステナビリティレポートを活用し社員へ周知している。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

4